

【件名】

大船から鎌倉（北鎌倉経由）への道について

【内容】

先月久しぶりに大船から鎌倉まで歩いてみました。学生時代から何年ぶりでしょうか？20年は経てるかと。でも歩道の狭さはそのまま時折自転車も。全国各地の歩道を旅行や出張で体験した今、え？こんな狭くて危なくて歩きにくい歩道だったっけ、と思うくらい何も変わらず、身体が大きくなった分だけ更に狭く感じられました。

地方の観光地は川沿い、湖のほとりの道路が歩行者用に美しく整備され、オランダのように車道、自転車道、歩道ときっちり分かれていて、三者に優しく安全な道路デザインになっております。

鎌倉も是非なんとかしてほしいものです。特に北鎌倉から鎌倉へは歩くと楽しいし、お寺巡りも歩いてできるので…

【回答】

御要望にあります大船から鎌倉に向かう道路は、神奈川県が管理している県道 302 号(小袋谷藤沢)及び県道 21 号(横浜鎌倉)となっています。

県道 302 号の現状は、鎌倉踏切から小袋谷交差点間にガードレールが一部設置されているのみで、歩道の整備は、開発事業により設置された以外、用地取得が必要となり歩道整備がされていない状況です。

歩行者等の安全対策は喫緊の課題であることから、道路管理者の神奈川県、交通管理者の神奈川県警察及び鎌倉市が連携し、道路の路側帯をカラー化し、ドライバーの注意喚起を促すことにより歩行空間を確保するなどの対策を講じています。

また、御要望にあります北鎌倉駅から鎌倉駅までの間は、寺社仏閣や史跡が多いことに加え道路沿いに家屋が連担しており、用地の取得が難しい状況であることから、県道 21 号沿いの第三鎌倉道踏切と建長寺間の駐車場等を活用した歩行空間の拡幅に向け町内会等と協議を行っています。

歩道整備には、沿道権利者の協力が不可欠となりますので、今しばらく時間を要しますが、用地取得の協議等が整った箇所から神奈川県と連携し整備を進めていきたいと考えておりますので、御理解のほど宜しくお願いします。

平成 29 年 10 月 3 日対応／回答